1　国語

学校番号	303

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版　新編国語総合（第一学習社）						
副教材等	表覧演習/新常用漢字/基礎編（京都書房）						

1 担当者からのメッセージ

・１年生では基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・グループで設問に取り組む授業も取り入れていきます。
・すばらしい文章を通して「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、古典の素晴らしさ楽しさを味わってほしいと思っています。
・毎時間、漢字の小テストを行います。

・毎回の授業で授業プリントを完成させ、提出しましょう。

2 学習の到達目標

・文章を正確に読み　理解することができる力をつける。
・自分の感想や考えを適切に伝える言葉、表現方法を獲得する。
・すばらしい文学作品を鑑賞する力を身につける。
・言語感覚を磨き、豊かな想像力を育む。
・国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	作品を通じて社会への興味関心の幅を広げ、文章の力、言葉の力を認識し、日常でも言葉を大切にしていく。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	漢字や語句などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ワークシート等）	行動の観察 （グループでの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	教材 「挨拶上手」	○			○	○	a:評論文における筆者の主張にふれることで、自身のものの見方・考え方を広げようとしている。 d:考えの進め方や、具体例を用いた説明のしかたなど、文章を的確にとらえ、また自分の問題として読むことができているか。 e:漢字・語彙能力を身に付けたか。	a, d, e：行動の観察と記述の確認及び定期考査
	小説	教材 「指」	○		○	◎	○	a:情景や行動、心情描写などから、物語の内容を的確にとらえようとしているか。 c:小説のその後の物語を想像して創作することができたか。 d:自分自身の生活やあり方と結びつけながら、物語を読みとけているか。 e:語彙や表現技法を正しく理解し、使いこなせているか。	a, c, d, e: 行動の観察，記述の点検，及び定期考査
	古典	教材 「一休話」 「児のそら寝」 （宇治拾遺物語）	○			◎	○	a:教材の背景等の学習によって平安時代から鎌倉時代の生活に対する興味関心を持つことができたか。 d:音読を繰り返し、古典のリズムを体感し、現代語に直すことで現代人にも通じる心情を理解できたか。 e:古文を読むために必要な文語のきまりを身に付けられたか。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	小説	教材 「よだかの星」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、物語において象徴性が果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、物語において象徴性が果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a, d, e: 行動の観察及び記述の点検　記述の確認及び定期考査

	小説	教材 「羅生門」 短歌など	○	○		◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉えることができ、小説を読む楽しみを味わうことができたか。 b:作品を通して感じたこと、考えたことを、文章を具体的に取り上げながら伝え合えているか。 d:物語が進むにつれての登場人物の心情の変化を、一つ一つの表現に着目してとらえているか。 e:作者について理解を深めるとともに、語彙を正しく理解しているか。	A,b,d,e:行動の観察及び記述の点検 記述の確認及び定期考査
	古典	教材 ・かぐや姫のおひたち （竹取物語） ・筒井筒 （伊勢物語）	○			○	○	a:平安時代の恋愛・結婚・貴族社会の文化を学び　興味関心の幅を広げられたか。 d:音読を大切にし、言葉の美しさ、歌物語のリズム感を体感し、日本語のすばらしさを味わう。また男女の心情を読み取るおもしろさや現代に通じる心情を理解できたか。 e:古文を読むために必要な、文語のきまりを身に付けられたか。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	小説	教材 「ほねとたね」	○		○	◎	○	a： 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉えることができ、小説を読む楽しみを味わうことができたか。 c:感じたことを自分の言葉で的確に表現できたか。 d:物語の構造や描写の特徴に留意しつつ、作品の世界を想像力をはたらかせて読むことができたか。 e:作者について理解を深めるとともに、語彙を正しく理解しているか。	a,c,d,e:行動の観察及び記述の点検 記述の確認及び定期考査
	古典	教材 「五十歩百歩」 「虎の威を借る狐」	◎			○	○	a:内容を理解し、故事成語の意味が理解できたか。 d:内容を理解しながら、訓読することができたか。。 e:漢文を読むために必要な訓読のきまりを身に付けているか。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。